

主な周辺施設一覧

※周辺には熊本城に関連した歴史資料の展示施設はあるが、「図書・絵図など史料」「出土品」を中心とした展示施設や「調査研究成果」「地震被害からの復旧復興」の情報発信拠点、さらに定期講座「熊本城学」や「研修会（石工等）」などを開催する施設がない ⇒新たな施設が必要

※青字部分は「熊本城」に関連した展示内容

施設名 (開館年)	設置目的・展示内容・特徴など	運営主体
本丸 ①熊本城天守 (S35再建～)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造にて外観復元（古写真と絵図に基づいて設計）。 ・天守展示・内装は現在リニューアル工事中（2021年春に公開予定）。 ・基本コンセプト「城全体ではなく、天守に焦点を置く」 「加藤時代～近現代を中心に展開」 ・基本的な方針 熊本城天守の位置付けを明確にし、周辺施設との連携・補完を図る。 天守閣内は保存環境に制約が多いため、基本的にはオリジナル（実物）展示は行わない。 ・既存施設では展示されていなかった西南戦争以降の熊本城天守の歴史展示を追加する。 【主な展示内容（予定）】 ・穴蔵（地階）・・・実物（井戸・石垣）、展示説明（カマドなど） ・加藤時代（1階）・・・天守構造・意匠、軸組模型、御上段模型など ・細川時代（2階）・・・城郭・城下模型、天守の使われ方など ・西南戦争～現代（3階）・・・熊本城と近代化、天守再建、など ・デジタル芳名板（4階）・・・平成28年熊本地震、復興城主、など ・天守からの展望（6階）・・・過去の城下町風景をスマホ（AR）表示 	市

二の丸 ②県立美術館 本館（S51～）	<ul style="list-style-type: none"> ・公開承認施設（国宝・重要文化財を展示公開できる）。 ・細川コレクション常設展示室を設置（H20.4～）、拡張（H24）。 ・公益財団法人永青文庫所蔵品を熊本で鑑賞できる。 	県
三の丸 ③熊本博物館 (新館S53～)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・人文分野にプラネタリウムを併設した総合博物館。 ・国指定重要文化財細川家舟屋形（波奈之丸）を展示。 ・考古・歴史・民俗分野で、加藤・細川・西南戦争・天守再建等展示 「加藤清正、肥後へ」（本妙寺所蔵の甲冑レプリカ、軍扇など） 「庶民の英雄 清正公」（加藤清正像、賤ヶ岳合戦図絵馬など） 「成熟する肥後」（永青文庫所蔵の細川忠興甲冑レプリカ、など） 「変わる熊本」（西南戦争錦絵、谷干城書、熊本焼場方角図など） 「藤崎台のクスノキ群」（藤崎八幡宮跡出土品：瓦・陶磁器など） ・敷地内外に特別史跡熊本城跡の遺構解説板（三の丸一帯）も設置 	市

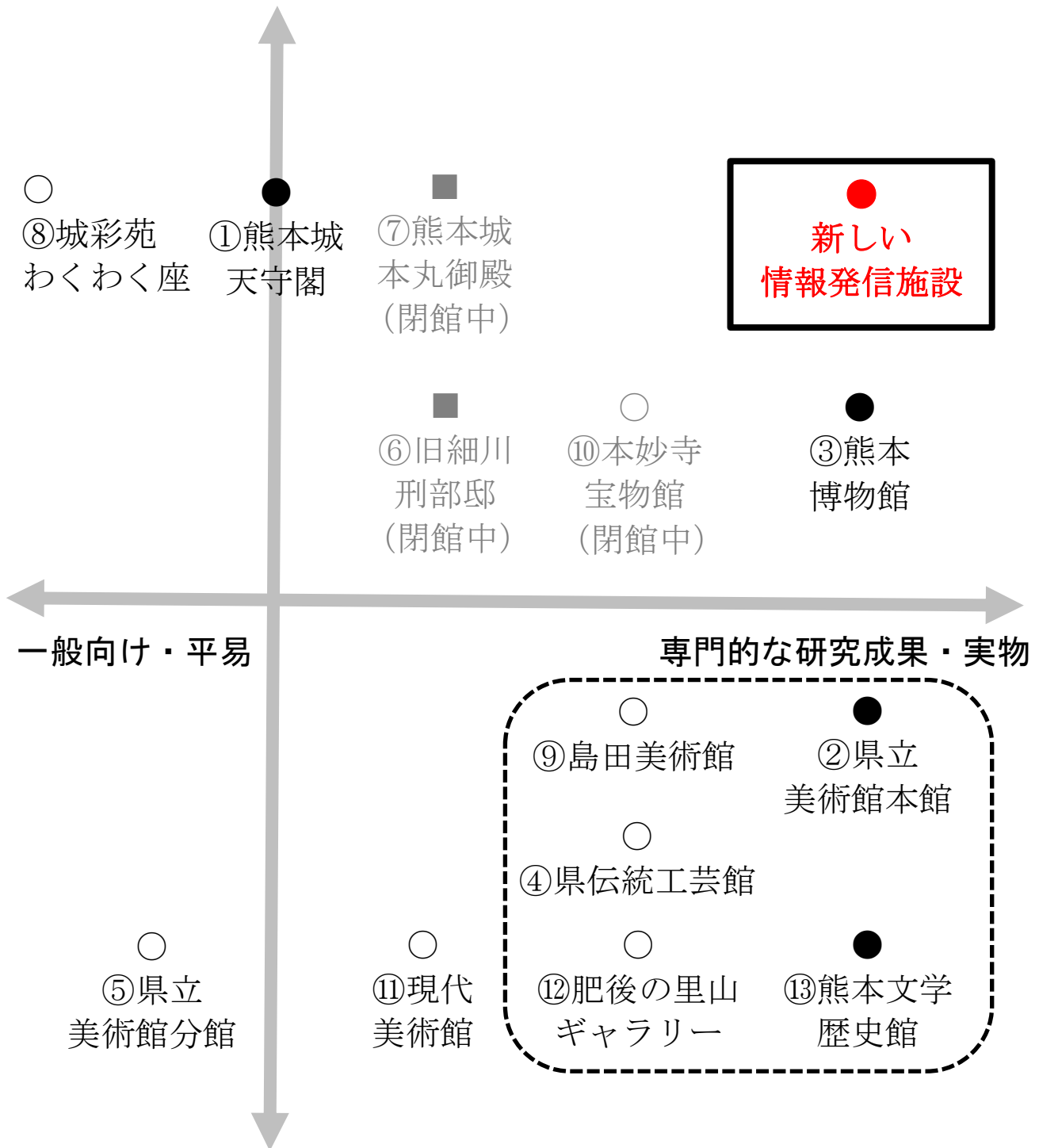
<p>千葉城</p> <p>④県伝統工芸館 (S57～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業の育成・振興・普及を図る。 ・肥後象嵌・木工品・染織物・竹製品・焼き物・刃物等を展示。 ・展示室・工房のほか、即売展示室を設けている。 	(県) 指定管理
<p>千葉城</p> <p>⑤県立美術館 分館 (H4～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリー・展示室1・展示室2・展示室3を設けている。 	(県) 指定管理
<p>三の丸</p> <p>⑥旧細川刑部邸 (H5 移築～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子飼から移築・整備。自治省「ふるさとづくり特別対策事業」。 ・忠利の弟 興孝を初代とする刑部家 11 代の興増が居住した屋敷。 ・上級武士の生活空間を体験できる施設。県指定重要文化財。 	市 閉館中 (復旧時期未定)
<p>本丸</p> <p>⑦本丸御殿 (H20～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵図・古写真・発掘調査成果をもとに元位置に復元された建造物。 ・「昭君之間」障壁画や襖絵などを展示。 ・本丸御殿跡から発掘された出土品も展示 (鎮台印・ピストル・陶磁器など)。 	市 閉館中 (2028 年度～2032 年度復旧予定)
<p>古城</p> <p>⑧桜の馬場 城彩苑 熊本城ミュージアム わくわく座 (H23～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本城に関する参加体験型展示 (最先端映像技術・人による演出など)。 ・熊本城の被災映像、プロジェクションマッピング、VR 新映像、熊本城定点ライブカメラ、鯺瓦の展示など。 ・2019 度は「熊本城調査研究センターコラボ」と題して各種テーマ展示や講演会を開催。 	市 (PFI 事業)

<p>⑨島田美術館 (S52～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古美術研究者収集の歴史資料・古美術品を一般公開するために設立。 ・宮本武蔵関連資料をはじめ、書画・武器・武具・調度品等を展示。 	民
<p>⑩本妙寺宝物館 (新館 S54～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明治 45 年開館、昭和 54 年現在地に移転 (本妙寺宝物館)。 ・加藤・細川時代の資料などを保存・展示。 	民 (閉館中)
<p>⑪現代美術館 (H14～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が美術文化を享受し、美術に関する知識・教養の向上を図る。 ・地震後、天守閣内から搬出した「軸組模型」をロビーにて展示中 (令和元年 9 月に搬出時まで) 	(市) 指定管理
<p>⑫肥後の里山 ギャラリー (H27～)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・情報発信拠点として開設。熊本ゆかりの美術・工芸品を展示。 ・県内重要文化財等のデジタルミュージアム (高精細画像での鑑賞)。 ・文化財等の展示会や、講演会なども開催。 	民
<p>⑬熊本文学・歴史館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本近代文学館をリニューアルする形で平成 28 年 1 月に開館。 ・従来の機能を拡充し、熊本近代文学館が収集してきた文学資料に加え、熊本県立図書館所蔵の古文書など歴史資料を併せて展示。 	県

周辺施設における「熊本城」の展示比較

凡例 ●公共施設 (■復元・移築建造物) ○財団ほか民間施設

常設展示である (かつ熊本城関連が展示内容のほとんどを占める)



企画展示である (または施設内ごく一部のみで熊本城関連の展示)